

## 臨床実践への統合（家族領域）

### 【臨床実践への統合】

#### I 概要

各看護領域で多用される看護技術や薬品、医療機器の取り扱い、看護チームの一員としての看護活動、他職種との協働等に必要な知識・技術を各看護領域の特徴をふまえて教授する。

#### II 学習目標

これまでの学習を統合し、学生自らが明確にした周産期看護領域に於ける課題について探求する。また今後の周産期看護のあり方について考察する。

1. 看護サービスを受ける人々を常に擁護する立場に立ち、看護サービスの実現をするための方法を建設的に吟味し、科学的に課題を探求して創造的な解決策を考えることができる。
  - 1) 医療チームに参加した経験から疑問や問題を発見する。
  - 2) 発見した疑問・問題を分析して問題の書沿いを明らかにして実習で取り組む課題を明確にする。
  - 3) 課題に関連した情報収集を計画的に行い、文献が助言を活用してアセスメントする。
  - 4) 課題解決のための建設的な方法や対策を検討し、文献や助言を活用して描く
  - 5) 以上の課題解決過程において科学的に施行し論理的に表現する。

#### III 方法

##### 1. スケジュール

	日時	時間	場所	項目	内容	担当
1	4/17	1限	演習室2	オリエンテーション	周産期医療の現状と課題	松永
2	4/24	1限	演習室2	周産期における課題	家族看護学実習を振り返り、その中から周産期における課題を見出す。	松永
3	4/24	2限	演習室2	周産期における自らの課題を明確化	周産期における課題の中から、各自の課題(テーマ)を一つ選択し、その課題について文献の検索、検討を行う。	松永
4	5/8	1限	演習室2			
5	5/8	2限	演習室2	対象者の選定	文献の検討から、各自の課題の目的、対象事例を決める。	松永
6	5/15	1限	演習室2	まとめ		
7	5/15	2限	演習室2	成果報告	発表会	松永

##### 2. 内容

スケジュールの通りに行う。

1時限目は集合し、2時限目は各自課題に取り組む。課題の進め方については、随時教員

に相談をする。

#### 成果発表会

目的：

- ①これまでの学習を統合し、学生自らが明確にした周産期看護領域に於ける課題について、メンバーとディスカッションし、自己の考えを深めるための機会とする。
- ②効果的な発表と意見交換をする能力を身につける

#### 方法

日時 5月15日（水）10：45～

場所 第2演習室

参加者 学生 教員

発表資料 A3 1枚で発表要旨を作成し、参加者に配布する

運営 司会進行、タイムキーパーなどが必要な準備と役割は学生で分担する。

#### 評価の視点

- ①発表内容が論理的で明確である
- ②発表資料が見やすく工夫されている
- ③発表の説明が明解である
- ④意見交換に積極的に参加している